

概要

内科の一部門で、循環器内科が心臓や血管を、消化器内科が胃腸や肝臓を、それぞれ主に診療の対象とするように脳と神経を診療の対象とします。脳神経外科と扱う疾患が重なりますが、薬物を使った治療が主体です。

多い病気としては脳梗塞、頭痛、パーキンソン病、てんかん、認知症、末梢神経障害などがあります。

稀ですが、重要な病気として筋萎縮性側索硬化症、脳炎・髄膜炎、クロイツフェルト・ヤコブ病、重症筋無力症、多発筋炎などがあります。自己免疫疾患、遺伝子疾患等、以前は限られた治療しかなかった病気も近年次々と新しい治療法が登場している分野でもあります。

実績(退院患者統計)

DPC6桁分類		
010060	脳梗塞	164
010230	てんかん	27
010160	パーキンソン病	25
010040	非外傷性頭蓋内血腫(非外傷性硬膜下血腫以外)	23
040081	誤嚥性肺炎	21
010061	一過性脳虚血発作	18
040080	肺炎等	17
010110	免疫介在性脳炎・炎症性ニューロパチー	15
040081	その他の感染症(真菌を除く。)	15
010170	基底核等の変性疾患	9
070560	重篤な臓器病変を伴う全身性自己免疫疾患	8
010260	ウェルニッケ脳症	7
010080	脳脊髄の感染を伴う炎症	7
010155	運動ニューロン疾患等	6
010081	免疫介在性脳炎・脊髄炎	6
160100	頭蓋・頭蓋内損傷	5
010070	脳血管障害	4
11013x	下部尿路疾患	4
070341	脊柱管狭窄(脊椎症を含む。)頸部	4
010130	重症筋無力症	4
—	その他	113
総計		502